



夢を結ぶ

平岡緑中学校ホームページ <http://www.hiraokamidori-j.sapporo-c.ed.jp>

今年度も学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。結果をお知らせします。

表の見方

表の左側が評価項目です。右側にある「全体、生徒、保護者、教職員」の数値が集計結果です。最大が「4」になります。

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
学力を育てる教科指導が行われている。	3.3	3.3	3.4	3.5
全国学力学習状況調査や、次年度から取り入れる標準学力検査の結果から本校生徒の実態を把握して指導に役立てるとともに、生徒自身が「わかる・できる・楽しい」を実感できるような教科指導の工夫や改善を今後も継続していきます。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
生徒たちは、どの授業に対しても意欲的に参加している。	3.1	3.1	3.1	3.2
生徒たちはどの教科にもおおむね意欲的に取り組んでいました。ICT 機器の活用などの個別学習や、グループワークなどの協働学習を促進し、生徒の学習意欲を高める工夫を行っていきます。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
個々を大切に丁寧な授業づくりをしている。	3.2	3.3	3.1	3.4
チーム・ティーチングなどによる個々に対応した学習指導に取り組んでいます。また、リベンジテストの実施や、昼休みの学習相談会、放課後の学習会など、生徒の理解度などに応じた対応を今後も継続して行ってきたいと考えています。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
生徒たちは、総合的な学習の時間に興味をもって意欲的に取り組んでいる。	3.3	3.3	3.3	3.5
学習した内容をまとめ、他者にわかりやすく伝えるということを目指して総合成果発表会を行うことができました。他学年との交流もでき意義のあるものでした。今後更に改善を重ね、生徒の深い学びにつながる取組を目指していきます。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
評価の規準や評価の資料について、生徒たちに十分説明している。	3.2	3.4	3.1	3.4
年度初めの授業の中で、どの教科も評価・評定について生徒にオリエンテーションを行いました。二期制への移行も踏まえ、評価方法や評価資料の説明を丁寧に行うとともに、学習成果を生徒にフィードバックすることを通して学習方法の改善や学力向上に向けた支援を充実させていきます。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
生徒たちは、学校へ行くのが楽しいと感じている。	3.3	3.4	3.3	3.3
達成感や一体感を得られるよう学校行事の更なる充実を図ります。また、教育相談の機能を活用し、生徒の不安や悩みに寄り添い、安心して楽しい学校生活を送ることができるよう支援していきます。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
人権や命を大切にすることを育む指導に力を入れている。	3.3	3.4	3.2	3.4
豊平警察署の方に来ていただいた非行防止教室や、助産師派遣事業を活用した「いのちに関する講演会」を今年度実施しました。今後も外部機関との連携しつつ、日常的な指導も充実させていきます。また、講演を公開するなどして、取組を保護者の方とも共有できるようにしていきます。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
きまりやマナーを守る指導に力を入れている。	3.3	3.3	3.3	3.1
今年度、全校生徒から学校のきまりについて意見をもらい、生徒会役員とともに再検討を行いました。生徒自らが生活のきまりをつくることで、きまりやマナーを守る意識を高めていきたいと考えています。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
様々なことを相談しやすい体制を作っている。	3.1	3.1	3.1	3.6
今年度からシャボテンログを導入し、生徒一人ひとりの心と身体の調子の把握に努めています。今後も相談しやすい雰囲気づくりや教育相談などの体制を維持していきますが、学校だけでは気付けない部分も多々あるかと思えます。御家庭での様子など、学校まで御連絡いただくとありがたいです。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
校舎の内外がきれいであり、施設設備が大切に使われている。	3.5	3.4	3.6	3.5
期末特別清掃を行ったり、生徒会活動強化週間の取組で「清潔な学級選手権」を行ったりする等、学校全体がきれいな状態を保てるような工夫を行ってきました。今後もこれらの取組を通して、学校施設を大切に使う気持ちも育てていきたいと思えます。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
将来の進路や生き方について、適切な指導を行っている。	3.3	3.5	3.2	3.5
総合的な学習の時間や道徳の授業などで、多様な生き方や考え方に触れられるよう指導してきました。各学年の発達段階に応じて、自己理解を深められる活動を行い、自己実現への意欲を喚起することができました。今後は講演を保護者の方にも公開していきたいと考えています。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
生徒たちは、様々な学校行事に意欲的に参加している。	3.6	3.7	3.6	3.8
行事当日だけでなく、そこに向かう過程を大切に活動することができました。生徒の反省を見ても行事のねらいに迫りながら充実感を得ることができていたと考えています。より一層、自主的・自治的な活動ができるように支援していきます。				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
学校だよりやHPなどで情報の発信に努めている。	3.4	3.3	3.5	3.4
<p>昨年度に引き続き、HPの「今日の平岡緑」を適宜更新することができました。学校便りは今年度からすぐーるでの配信に変わりましたが、ペーパーレス化を図りながらも、学校の情報をこまめにお伝えできるように工夫していきます。</p>				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
保護者や地域の人たちが来校する機会を多く作っている。	3.6		3.6	3.6
<p>授業公開やPTA集会だけでなく、緑萌祭や総合成果発表会なども公開することができ、授業以外の生徒の活動の様子も見ていただく場面を増やすことができました。保護者の方が来校できる行事を早めにお知らせし、より多くの方に見ていただけるよう工夫していきます。</p>				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
学校と保護者、地域との連携が深まっている。	3.1		3.0	3.2
<p>「すぐーる」を活用した保護者の方との連絡が定着し、これまでよりも密に連絡を取り合うことができたと考えています。総合的な学習の時間などで外部講師の方をお招きした活動を増やすこともできました。コミュニティスクールの導入によって、地域との連携を充実させていきます。</p>				

評価項目	全体	生徒	保護者	教職員
校区内の小中学校間で、中学校教員が小学校に出向き、中学校の説明などを行っていることや小中学校の教員が合同で授業を参観するなど研修会を行っていることを知っている。	3.3	3.6	3.3	3.8
<p>今年度から小中合同の札教研事業や、緑萌祭の小学生参観等、新しい機会を設け、子どもの意欲につながる意義のある取組だったと考えています。次年度に向けて取組の効果を丁寧に検証し、平岡緑中学校区として育てたい子ども像をより明確にすると共に、今後も実施可能な形式を模索していきます。</p>				

11月に実施した学校評価アンケートで多く寄せられた御意見・御要望などについてお答えします。

成績に関わること（定期テストの平均点・偏差値）
<p>学年という人数の少ない集団での平均点や偏差値を気にするのではなく、テストをひとつのきっかけとして、できなかったところを振り返ったり、自分のこれまでの学習を見直したりする場としてほしいと考えています。全国的な指標を確認する機会として、令和7年度より標準学力検査（TSP）を実施する予定です。</p>
2期制と成績に関して
<p>テストだけでなく日常の学習の積み重ねを重視しています。できなかったところができるようになったり、一度理解できたところが時間をおいても変わらず理解できる状態でいたりすることを目指して指導にあたり、これまでよりもさらに日常の取組への見取りを充実させていく方針です。今まで以上にテストだけでなく、日々の学習課題にしっかりと取り組み、テストの結果だけに一喜一憂しないようにしてもらいたいと思います。</p>
期末懇談について（二者面談もしてほしい）
<p>御希望をお伝えいただければ保護者の方と担任のみで話し合う場を設定することは可能です。例えば懇談の時間の最後の5分間、お子さんに席を外してもらい、保護者と担任の二者で話す場をもつことなどが考えられます。日程希望調査の際に「その他」の欄に御記入いただくか、電話やすぐーるなどでお伝えいただければ対応したいと思いますので、担任にその旨をお伝えください。</p>

<p>行事の案内について（保護者が参加できるものはどれか・ペーパーレスにしてほしい など）</p> <p>保護者の方に来ていただけるものに印をつけたり、別紙で一覧にしてお伝えしたりするなどの工夫を考えたいと思います。年度当初の年間行事予定から変更になる可能性や、4月時点では時間帯などの詳細が確定していないこともありますので、行事が近くなった時にお伝えする文書で詳細は御確認ください。</p>
<p>学習面でのサポートについて（授業についていけない子・不登校生徒へのサポート など）</p> <p>教育相談、昼休み学習会、放課後の学習会、TT や学びのサポーターの方による支援などを実施してきました。今後もそのような活動を継続していきたいと思います。学習面の悩みについては、担任や教科担任に遠慮なく相談してもらいたいと思います。また、日々の家庭学習が学習内容の定着に必要なのは言うまでもありません。御家庭でもお子さんへの支援をよろしく願いいたします。</p>
<p>学校のきまりについて（お団子ヘア・ペットボトルなど）</p> <p>生徒の皆さんから寄せられた意見をもとに、教職員で見直しを図り、髪型、服装などについては2月に生徒に伝えました。ペットボトルや水筒の扱いについては、持ってくる際のルールを含めて、今後生徒に伝える予定です。</p>
<p>相談体制について（いじめ・普段の観察など）</p> <p>教職員で、生徒を観察し、変化を見逃さないように心がけています。相談したいことがあったらいつでも声をかけてほしいと思っています。ただ、こちらからだけでは気づきにくいものもあります。シャボテンログの活用や、日常の些細なことでも構わないので相談してもらいたいと思います。</p>
<p>行事のあり方について</p> <p>コロナ禍明けの行事ということで、様々なことを考慮しながらどのような行事のあり方が良いのか検討しています。生徒の皆さんの声を取り入れながら、より主体的で満足感のある行事になるよう検討を重ねていきます。緑萌祭の合唱については、コンクール形式で競い合うのではなく、互いの良さを認め合う現在の形が、素晴らしい取組であると考えています。</p> <p>体育的行事については、天候（雨天・酷暑など）に左右されずに実施でき、保護者の方の観覧スペースが十分に確保できるというメリットから、次年度は北ガスアリーナ（札幌市中央体育館）で実施予定です。ぜひ応援にきていただきたいと思います。</p>
<p>委員会活動について（連絡・活動内容など）</p> <p>生徒会強化週間や、各学年の事情などで、定例の委員会とは別に委員会活動が入ることも出てきます。余裕をもって連絡できるように心がけます。</p>
<p>施設設備に関すること（トイレドア・エアコン・時計など）</p> <p>エアコンは札幌市の設置の計画に従って今後随時設営されていく予定です。停電などで屋外の時計がずれることは稀にありますので、気づいた時に伝えてください。用務員さんや業者の方に連絡して設定しなおします。トイレに関しては現在の造りからの変更は難しいです。</p>
<p>PTA 活動について（委員選考・案内なども含めて）</p> <p>保護者の方の過度な負担とならないようなPTA活動を検討していく中で現在の委員選考の方法へと変更しましたが、御案内なども含めて再検討すべきものは検討し、より良い活動となるよう改善していく予定です。</p>
<p>部活動について（新設・廃部・保護者との意見交換の場・活動時間など）</p> <p>現在部活動の地域展開という話も国全体で起こっており、これまでの部活動のあり方とは少しずつ変わってきています。年度当初の総会資料、部活動結成集会資料、各部のミーティング・保護者会資料に基づいて活動しています。気になる点がございましたら、各部活動の顧問の先生に遠慮なく相談してください。</p>

学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。次年度もよりよい学校を目指して教職員一丸となつて、努力して参ります。今後ともよろしく願いいたします。